



上空のイメージ

遙か上空に存在するその空間は常に眩い太陽によって照らされていた。

雲はまるで広大な大地のように遙か下に広がっている。

雲の色は灰色から白色まで。

雲の形は綿あめのように分厚いものから、煙りのようなものまで。

灰色の雲の下の天気は雨。

白色の雲の下の天気は曇りだ。

その雲の裂け目から見える世界は様々な色にわかれている。

茶色は広野

緑色は森林

青色は海

人間の住む街はその屋根の色の複雑な組み合わせで存在を確認出来るだろう。

かつては茶色と緑色と青色の世界だった地球から

人間は木材を取り出し、金属を取り出し、色を持つ物質を取り出した。

そしてそれらを規則正しく組み合わせ、建造物を造りあげたのである。

人間の存在が不規則な自然から、規則的な秩序だった世界を作り出したのだ。

そしてその創造のエネルギーの全ては、今、上空で輝く太陽から供給されたものなのである。

その灼熱の太陽から。